

第1回 羽曳野市総合基本計画等審議会



令和7年7月6日（日）

羽曳野市について



市章

ご当地キャラクター
つぶたん

市の概要

▼人口世帯数（R7.5月末時点）

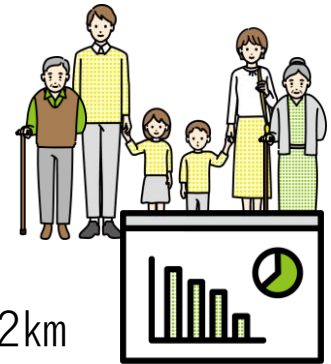
総人口:**106,880人**

世帯数:52,126世帯

▼地形等

面積:26.45km²

広ぼう 東西 8.4km 南北 6.2km



▼大阪市まで**30分でアクセス可**

→大阪都市圏の
ベッドタウンとして発展



魅力・特色

▼5つの鉄道駅や広域的な幹線道路等、**良好な交通アクセス**



▼世界遺産(古市古墳群)日本遺産(竹内街道)等の**貴重な歴史資産**

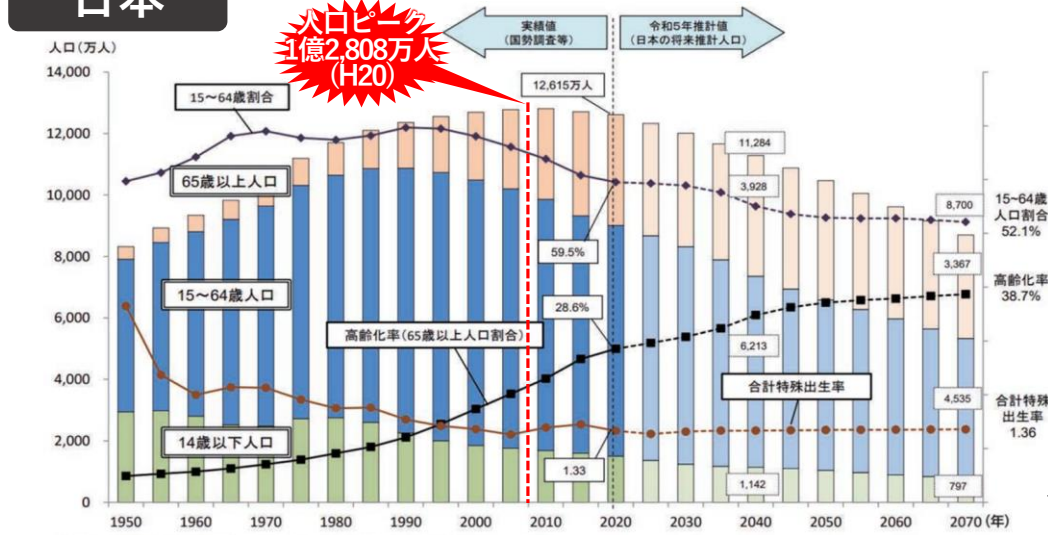


▼ブドウやいちじく、ワイン、食肉等の**豊富な特産物**



羽曳野市の状況について

日本

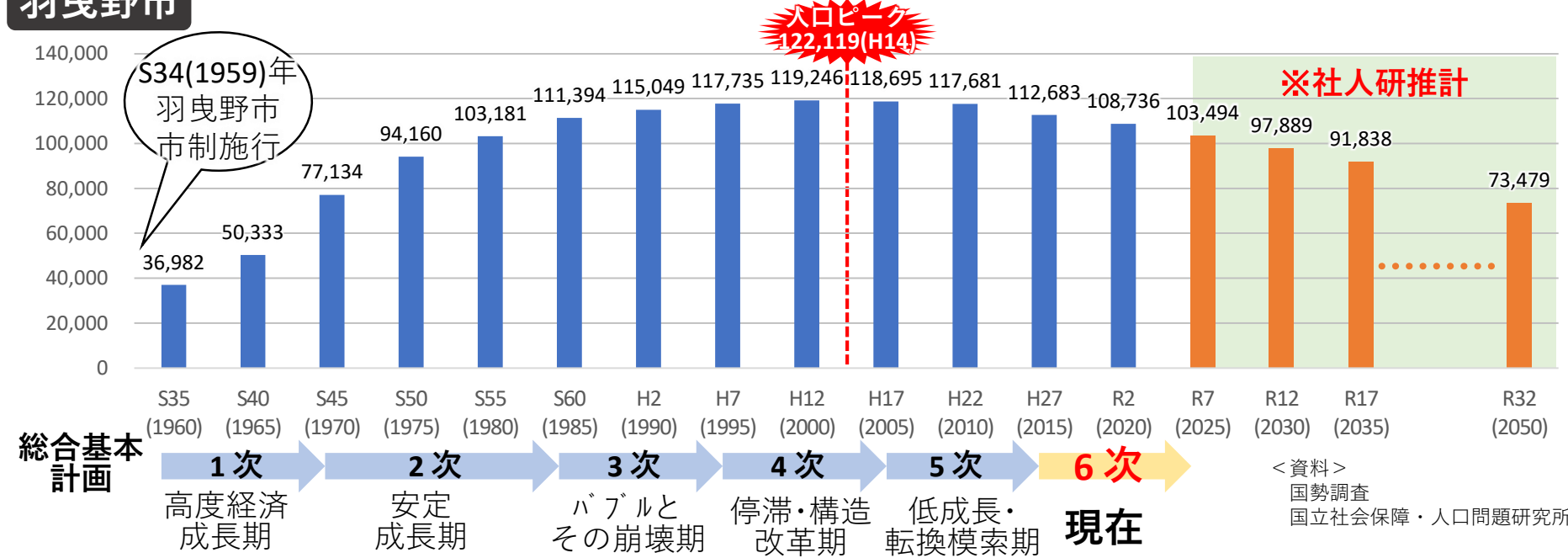


▼日本全体ではH20(2008)年を、
羽曳野市はそれより早く
H14(2002)年をピークに
人口減少へ移行

※これまでに経験したことがない
状況に直面

<資料> 国土交通白書2024

羽曳野市



これまでのまちづくりの方向性と現状

- 人口増（量の拡大）に比例して
まちが発展（質の向上）

- 人口の減少（量の縮小）に伴って
まちが衰退（質の低下）

まちの衰退

まちの発展

現状

人口増加

人口減少

これまで



国の「地方創生」の取り組み



- 第6次羽曳野市
総合基本計画
- 第2期まち・ひと・
しごと総合戦略

【将来像】

ひと、自然、歴史文化を育み笑顔輝くはびきの
～みんなでつくるだれもが住みたいまち～

【目標人口】109,000人(R7年)

➡ 10,6880人(R7年5月末)

これまでのまちづくりの方向性と現状

- 人口増（量の拡大）に比例してまちが発展（質の向上）

※国の地方創生もこの考え方が土台（人口増の維持による地方の発展）

- 人口の減少（量の縮小）に伴ってまちが衰退（質の低下）

※これまでのやり方の限界

人口増加

これまで



まちの衰退

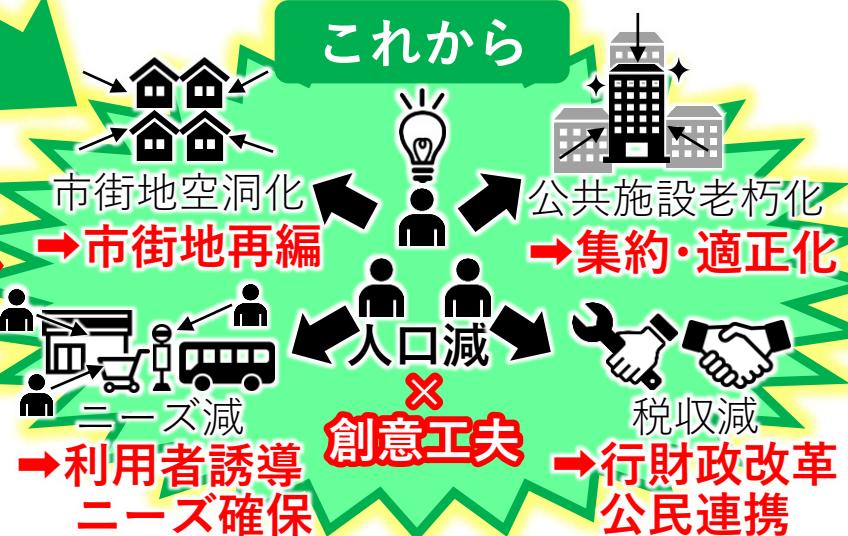
まちの発展

現状



転換

これから



**人口減少下でのまちの発展をめざす
(量によらない質的向上)**

第7次羽曳野市総合基本計画等 策定方針(概要)

前提

- 人口減少が一定避けられない中、未来の状況から逆算した取り組みが必要
- これからは市民にとっての暮らしやすさや幸福度といった質的な向上をめざすことが重要



地域のポテンシャルを最大限に活かしたまちづくり戦略の展開

Attractive

良好な交通アクセスや、歴史資産や特産品といった地域資源を活用し、人口減少下において、人や企業を引き付ける魅力あふれるはびきのを創造



SDGsとウェルビーイングの実現

Being

人口減少下でも市民が幸せを実感しながら暮らし続けることができるよう、SDGsをはじめ、ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること）を重要視



市民・事業者・行政の共創による持続可能なまちづくりの推進

Co-creation

高度化・多様化するまちづくり課題への対応にあたり、市役所単独での取り組みだけでなく、市民協働や公民連携を今後のまちづくりの重要手段として位置付け



DX・デジタル化推進による暮らしの向上

Digital

積極的なデジタル技術の活用により、誰もが便利で快適に暮らせる社会をめざす



経営資源(財源・人材・施設)を有効かつ効率的に運用する行財政運営

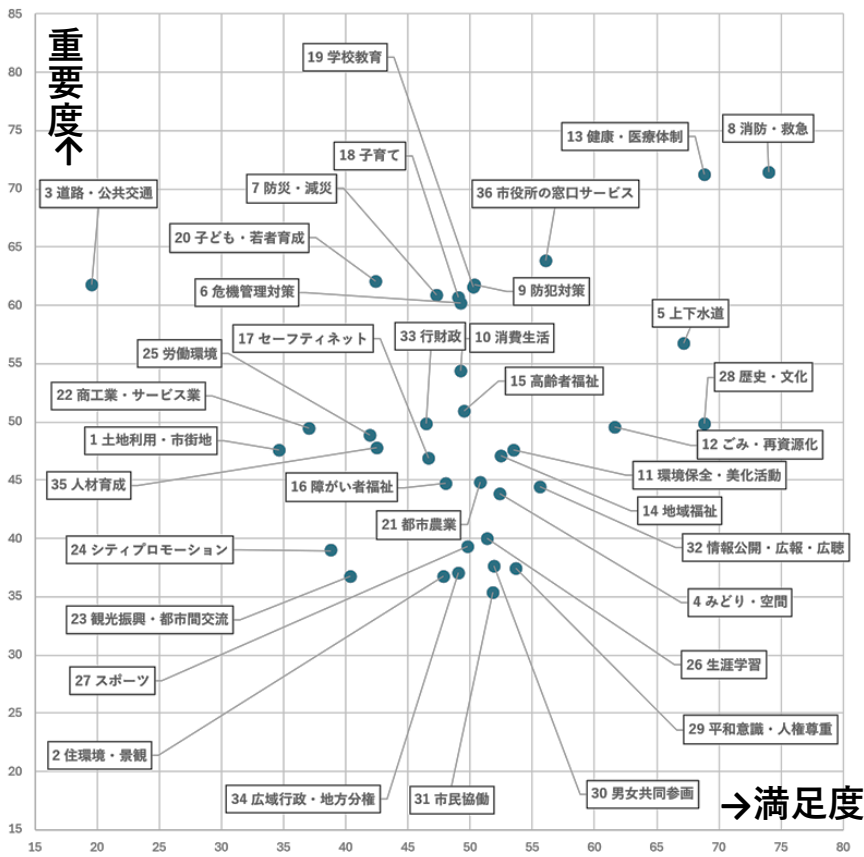
Efficiently

人口減少による税収減も含め、今後の厳しい行財政状況を踏まえ、一層の行財政改革の視点を市役所の取り組みの土台とする

市民・職員アンケート（詳細は別紙）

市民アンケート

ポ
ー
ト
フ
ォ
リ
オ



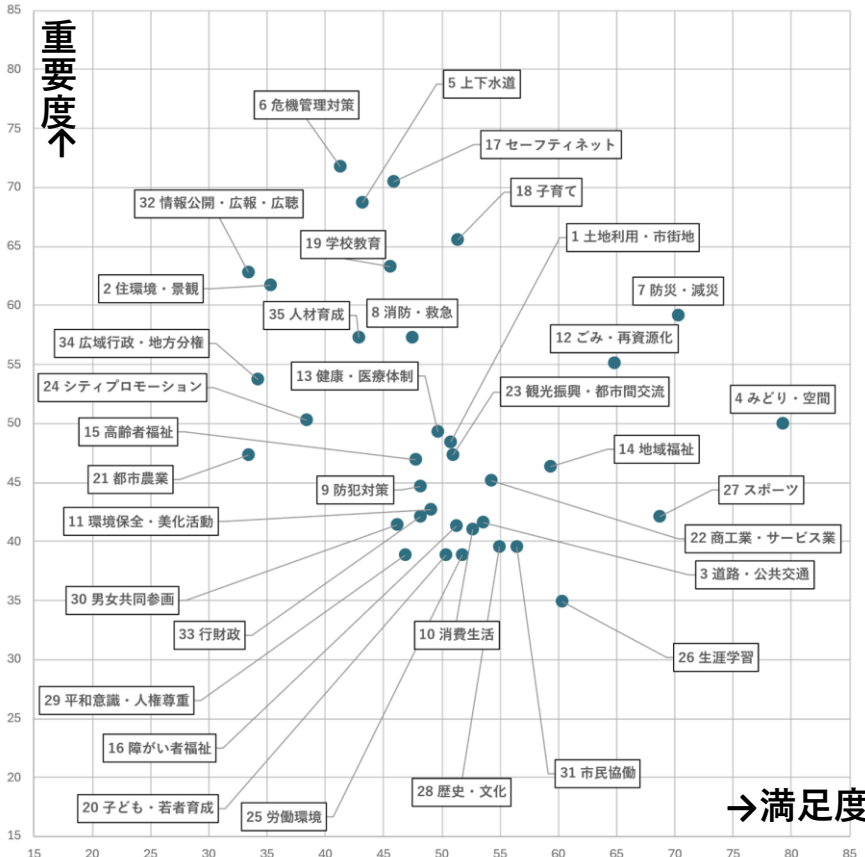
満
足

上位：[消防・救急][健康・医療][歴史・文化]
[上下水道]

重
要

上位：[消防・救急][健康・医療][窓口サービス]
[道路・公共交通]

職員アンケート



上位：[みどり・空間][防災・減災][スポーツ]
[ごみ・再資源化]

上位：[危機管理][セーフティネット][上下水道]
[子育て]

職員ワーキング



実施日程	第1回：R6年12月25日（水）	第2回：R7年2月18日（火）
目的	現行計画の施策に関する評価・分析・修正案の検討	次期計画における新規施策等を職員から提案
実施内容	【個人ワーク】 現行計画における「現状と課題」の更新に向けた要素の整理 【グループワーク】 新たな計画における「現状と課題」案の作成	【個人ワーク】 自身の業務の中で人口減少の影響を感じる事 【グループワーク】 人口減少の影響を改善するために考えられるアイデア具体的な施策案

市民ワーキング（詳細は別紙）



実施日程	第1回：R7年1月25日（土）	第2回：R7年2月15日（土）
目的	地域課題の解決に向けた具体的なプロジェクトを、市民から募集する。	
参加者数	30名	27名
実施内容	市民の皆様、テーマごとに「地域課題」と「その解決に向けて取組める内容」をそれぞれ議論していただき、グラフィックレコーディングにより取りまとめる。	第1回で出た意見をもとに、「市民中心にどんなことに取組めるか」に焦点を当てて議論し、取組めることを整理した。